

各 位

会社名 ダイヤ通商株式会社
 代表者名 代表取締役社長 阿部 匡
 (JASDAQ・コード:7462)
 問合せ先 管理部管理課 山本 清武
 電話 03-5977-1567

平成28年3月期第2四半期累計期間の業績予想と実績値との差異、
 通期業績予想の修正及び特別利益の発生に関するお知らせ

この度、当社において本日開示いたします「平成28年3月期 第2四半期決算短信(非連結)」の実績値と平成27年5月15日に公表しました業績予想について差異が発生しましたので、下記のとおりお知らせいたします。

また、今後の業績動向等も踏まえ、平成28年3月期通期業績予想の修正を下記のとおり修正いたしましたので、お知らせいたします。

尚、特別利益の発生もありましたので併せてお知らせいたします。

記

1. 業績予想と実績値の差異について

第2四半期(累計)(平成27年4月1日~平成27年9月30日)

(金額の単位:百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
前回発表予想(A)	1,916	34	30	30	4.04
今回発表値(B)	1,550	21	22	38	4.99
増減額(B-A)	△365	△12	△7	8	
増減率(%)	△19.1	△37.3	△24.7	27.3	
前期実績(平成27年3月期第2四半期)	2,300	△6	△7	△26	△3.51

2. 通期業績予想の修正について

(平成27年4月1日~平成28年3月31日)

(金額の単位:百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A)	3,811	50	44	35	4.70
今回発表値(B)	3,100	50	44	55	7.18
増減額(B-A)	△711	—	—	20	
増減率(%)	△18.7	—	—	57.1	
前期実績(平成27年3月期)	4,197	38	86	22	2.96

3. 特別利益の発生及び内容

駐車料収入を得る為にダイヤビル立体駐車場のリニューアル工事を予定していましたが、カーライフ部門等を中心に自社利用する必要性が高まったため、リニューアル工事中止の判断に至りました。

その結果、特別修繕引当金22百万円の戻入を第2四半期会計期間に計上いたしました。

4. 業績予想の差異および修正の理由

第2四半期におきましては当社の主力事業である石油事業において、売上高は原油価格の下落による燃料油価格の大幅な引き下げにより減少しました。

専門店事業におきましては、ニューモデルの積極的な販売や既存顧客へのアフターフォローを充実させた事、併せて新規出店により売上高と利益はともに好調に推移しております。

不動産事業におきましては、自社ビルのテナントが引き続き満室の為、売上高と利益はともに順調に推移しております。

この結果、会社全体としては石油事業の不振が大きかった為、計画と比べて売上高・営業利益・経常利益ともに減少となっております。

四半期純利益においては、上記に加えて3.に記載の特別利益の計上により38百万円となりました。

これらを要因に、第2四半期の業績予想と実績値の差異をお知らせいたします。

今後の見通しにつきましては、石油事業における適正マージンの確保や油外粗利の増強を目指し、専門店事業につきましても引き続き顧客ニーズに合った販売戦略を継続してまいります。

これらの要因を踏まえ、通期の業績予想の修正をいたします。

(注) 業績予想につきましては、本資料の発表日において入手可能な情報に基づいて当社で判断したものであり、実際の業績は今後の様々な要因により予想値と異なる場合があります。

以 上